

## 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた課題と取組の状況

## 【特徴(強み)】

- ・今年度、「県障がい者自立支援協議会精神障がい者部会」に、ワーキンググループを設置し、課題の把握等を行っている。
- ・年1回、県全域の保健、医療、福祉、介護等の関係者を集めた実務者研修・多職種連携研修会を開催している。
- ・専門職や行政職員だけでなく、ピアサポーターが協議会等の会議の場に参加している。

課題	課題に解決に向けた取組状況	取組の成果
各圏域における連携体制の構築を推進すること。	県及び各圏域の協議の場等をとおして、地域の実情に応じた連携体制の構築を推進するほか、基本的知識や技術の習得を目的として実務者研修・多職種連携研修会を開催した。	各圏域の取組について、県の協議の場で共有するとともに、実務者研修・多職種連携研修会にて先進地や県内の好事例について紹介することで、連携体制構築の推進を図った。
障害者総合支援法による「地域移行支援」の利用者数の増加させること。	基幹相談支援センター等に所属する主任相談支援専門員を各圏域の協議の場に派遣し、助言や定期的なモニタリングを実施した。	地域移行支援の利用者数が増加した。

課題解決の達成度を測る指標	現状値 (現時点)※	目標値 (令和元年度末)	達成状況の見込み(評価)
①市町村における協議の場の設置状況	6	10	各保健所を通じた働きかけを行うことにより、目標値に近づける見込みである。
②県障がい者自立支援協議会精神障がい者部会ワーキンググループの開催回数	4	5	県全域の課題分析を行う目的で定期的に開催しており、達成可能の見込みである。

※現時点の値が分かれば記入して下さい。分からない場合は、年度当初の値で構いません。

●指標設定が困難な場合は、代替指標や定性的な文言でも構いません。